

具体的な一連の雇用管理に関する援助の業務または実務の経験

	法人としての経験	事業運営責任者の経験	事業実施者の経験
経験年数等	①氏名		
	② 経験年数	2 年	5 年
	③ 障害種別の経験		<input checked="" type="checkbox"/> 身体障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 精神障害
障害者の一連の雇用管理の援助に関する業務又は実務の具体的な経験	① 経営陣の理解促進	これまで30社程度の経営陣に対して障害者雇用について意義・目的の理解促進を図る講話を行った。	就労移行支援事業所のサービス管理責任者として障害者雇用を実施もしくは検討している経営陣とのディスカッションや経営陣に対する研修でのスピーカー、取引先へのアドバイス経験あり
	② 障害者雇用推進体制の構築	弊社は就労 移行支援サービスを障害者に提供しているが、障害者の職員への登用を積極的に行っており、前年度も障害者を1名雇用した。	障害者雇用の担当者と一緒に、障害者雇用の新規 採用を実現した実績あり
	③ 社内での障害者雇用の理解促進	令和4年に就労移行支援事業をスタート。職員研修を通じて、共に働く喜びを感じてもらえるようにしている。	ナビゲーションブック(障害特徴と求める合理的配慮をまとめた冊子)を作成、一緒に働く社員への説明の場を設けることで、障害者雇用への理解促進を図った
	④ 当該事業所内における職務の創出・選定	本人と面談をした上で必要な具体的な配慮を明確にし、業務の整理、創出、再構築に合わせフルリモートでの勤務や毎日の通院に合わせた時短勤務などができるよう環境調整を行った。また適宜面談を行い、その時の状況に合わせた支援ができるよう心がけている	個々に必要な合理的配慮に合わせて、業務内容を調整している。フルタイム社員に当たっては、自分の特性にあったマニュアルを個別に作成し、周囲社員にもマニュアルを周知し、合理的配慮を説明、働きやすい環境整備に努めている。
	⑤ 採用・雇用計画の策定	業務と必要なスキルを整理し、求人に対する求める人物像と障害特性を考慮したマッチングに貢献した。また支援機関とのかわりや活用事例について助言を行った。	本法人で障害者雇用を含む、採用担当者の経験がある。就労移行支援事業所のサービス管理責任者としても、就職先企業への実習から採用に向けた雇用計画の相談助言経験あり。
	⑥ 求人の申込みに向けた準備など募集や採用活動の準備	地域の社会資源(ハローワーク、職業リハビリテーションセンター、障害者就業・生活支援センター等)と連携するなどして、障害のある方の就職を支援した。随時、ハローワークなどで雇用状況などの情報収集を行っている。	本法人で障害者雇用を含む、採用担当者の経験があり、労働条件の制定や求人票の作成など採用準備業務を行う。また、障害者雇用の検討している企業へ労働条件の制定の相談助言経験あり。
	⑦ 社内の支援体制等の環境整備	就労移行支援事業所にて企業向けの研修(長く働ける 職場づくりワークショップ 誰もが力を発揮して働ける職場を目指して)を行っている。	現場責任者として合理的配慮に合わせてフルリモート勤務の新設や、1時間からの勤務シフトを新設するなど障害特性に配慮した環境整備を実施。
	⑧ 採用後の雇用管理や職場定着等	障害者を採用した企業を対象として、障害者の採用後のギャップによる様々な課題解決のために、企業の課題に応じて、障害のある社員と管理者の双方への面談実施、管理者向けアドバイスを実施するとともに、これらを通じて把握した状況を踏まえて職場定着に向けた支援を行っている。	日々の面談や定期面談を実施し対象の課題ヒアリングに注力し、課題解決のため対策やトラブルの予防に努め、職場定着を図っている。

※事業運営責任者または事業実施者を複数名登録する場合は、2名以降の経験については別紙へ記載してください。

※(表面)1で、「対象障害者の一連の雇用管理に関する援助の業務についての実績を有する法人」を選択した場合は、下記の各項目について記載してください。

<p>過去3年間における実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●援助の件数 20件</li> <li>●支援業種：・コンサルタント業・官公庁・医療機関・サービス業・発電設備製造業・電気業・保険業・小売業</li> <li>●具体的な支援内容 「身体障がい者」「知的障がい者」「精神障がい者」の方々に対して、下記のような雇用管理を実施しました。</li> <li>・自社における障害者雇用管理：雇用に関する理解促進、業務の切り出し、支援体制構築、合理的配慮の設定(ごく短時間勤務の設定、フルリモート勤務の導入)</li> <li>・当事者の入社前準備支援：就職先とのマッチング支援、合理的配慮の設定、自己特性理解、ナビゲーションブックの作成、面接同行</li> <li>・定着支援：入社後の当事者への定着支援(相談対応・アドバイス・企業面談の同席)、企業担当者への相談対応・アドバイス・環境調整・業務調整</li> <li>・支援社員・当事者向け研修 等</li> </ul>
---

具体的な一連の雇用管理に関する援助の業務または実務の経験

		事業実施者の経験	事業実施者の経験	事業実施者の経験
経験年数等	①氏名			
	② 経験年数	7 年	年	年
	③ 障害種別の経験	<input type="checkbox"/> 身体障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 精神障害	<input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害	<input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害
障害者の一連の雇用管理の援助に関する業務又は実務の具体的な経験	① 経営陣の理解促進	前職の会社では経営陣が障害者雇用に積極的であり、自身が障害者雇用の担当者となることで雇用促進に繋がった		
	② 障害者雇用推進体制の構築	障害者雇用責任者として障害者の雇用管理及び現場管理に従事。		
	③ 社内での障害者雇用の理解促進	社員にも対象者の特性を共有し、障害者雇用に関する理解を求めた。		
	④ 当該事業所内における職務の創出・選定	現場責任者として、作業内容を分析し、本人の特性に合わせて業務抽出、創出、選定を行った。		
	⑤ 採用・雇用計画の策定	農業部門の責任者として業務を整理し、障害者に最適な業務を切り出し、多数の障害者雇用を実現。		
	⑥ 求人の申込みに向けた準備など募集や採用活動の準備	採用に関しては研修を担当し、可否の判定をすることもあった。また就労支援施設とも連携し、多くの障害者雇用に貢献した。		
	⑦ 社内の支援体制等の環境整備	特性を紹介施設と連携し、対象の特性などを把握。現場責任者として毎日コミュニケーションをとれる環境を作り、通院、体調に合わせて休みもとりのしやすいよう配慮。		
	⑧ 採用後の雇用管理や職場定着等	毎日コミュニケーションを行い対象の課題の解決や予防を図ることで職場定着を目指した。		